

## 第Ⅷ章 認証・認定機構による認定制度運営の全般について

最後の調査項目の大項目Ⅷについては、認証・認定機構による認定制度運営に関することについて、普段、考えていることや提案したいこと（アイデア・方法・アクション等）について、記述で回答を求めました。

ただし、まったくの自由記述ではなく、あらかじめ、「認定社会福祉士の資格要件、ルート等について」、「認定社会福祉士の更新の資格要件、ルート等について」、「認定上級社会福祉士の更新の資格要件、ルート等について」、「『スーパービジョン』の方法、内容、受講、頻度、回数、費用、質等について」、「認定の「手続き（申請・登録・費用）」等について」、「『更新スーパービジョン（集合研修方式）』の内容、開催頻度、質、量等について」、「認定制度の『普及・定着（認定社会福祉士の活躍・登用の場なども含む）』について」、「その他の意見・提案」というテーマ別に回答を求めました。

**Ⅷ. 認証・認定機構による認定制度運営に関することについて、普段、あなたが考えていることや提案したいこと（アイデア・方法・アクション等）がありましたら、以下の欄にご記述ください（「記述なし」も可）。\*記述でお答えください**

## ① 認定社会福祉士の資格要件、ルート等について

記述内容の分類		件数	構成比%
1	資格取得更新制度複雑・情報不足	18	13.4%
2	資格取得・更新コスト過大	32	23.9%
3	資格制度の普及PR必要	14	10.4%
4	社会福祉士の認知評価必要	18	13.4%
5	認定者質向上	24	17.9%
6	認定資格制度の整理検討	37	27.6%
7	現状よし	4	3.0%
8	なし	11	8.2%
回答者数		134	100%

### (1) 資格取得更新制度複雑・情報不足（記述の例示）

235	大変複雑で分かりにくい状況でどのように取り組めば良いか不透明な所が多すぎます。
234	資格を取得するにあたり、具体的なアドバイザーが県士会にいると窓口も分かりやすく相談しやすいのでは。
282	資格取得の際、同じ県の方と情報交換することがなかった。県の士会の中で役割を任っていないことが理解できた。県内で特別研修に参加した方と集う場を行えば良かった。
283	ルート等について変更が多く分かりづらい。資格要件、更新要件、研修の要件（何がどのように何に該当するか）がよく分からない。
282	資格取得の際、同じ県の方と情報交換することがなかった。県の士会の中で役割を任っていないことが理解できた。県内で特別研修に参加した方と集う場を行えば良かった。

### (2) 資格取得・更新コスト過大（記述の例示）

28	各分野別に認定を縦割りにしているが、必ずしも同一分野で働き続けるとは限らない。上級認定社会福祉であれば、その制限はないと思うが、申請の際、疑問に思えた。
132	・実習指導やソーシャルワーカーへの参加等、次世代育成のための活動をした場合の単位認定。・受験料、更新料、研修料の値引き等、経済的負担の軽減。
196	社会福祉士の会員を一旦退会しても研修履歴がリセットにならないようにしてほしい。また、業務でも資格要件に合うようにしてほしい。

### (3) 資格普及必要（記述の例示）

11	取得しても何もメリットがない。メリットがあるように付加価値をつけてほしい。今のままでは自己満足としかなっていない。
106	認定社会福祉士として、このような仕事をしているといった社会へのPRを行うことを続け、社会的な認知度を高められたと思います。
121	社福社会にも日本協会にも入っていない社福士さんは制度自体知らないし関心がない。まずは協会活動のアピール、入会促進。資格要件やルートは今のままで良いと思う（まずは定着させることが重要なので）。
174	実力のあるベテランの方や実力があっても研修制度にのらず、今から、いちから始める気力が無い方がいらっしゃいます。この方達が認証が取れると良いと思っはいます。
208	県社会福祉士会総合学会の合間に研修コーナーを開設すること。地域関係機関、団体関係者に発信し実践活動をすること。

277	認定社会福祉士になるまでの道のりは厳しいが、認定を取ることによって、社会福祉士の存在の重要性を示していけるようにしたい。
11	取得しても何もメリットがない。メリットがあるように付加価値をつけてほしい。今のままでは自己満足としかなっていない。
106	認定社会福祉士として、このような仕事をしているといった社会への PR を行うことを続け、社会的な認知度を高められたと思います。

#### (4) 社会福祉士の認知評価必要 (記述の例示)

172	若いうちに取得するアナウンスを積極的にしている活用→認定取得の意義を伝え、社会福祉士の質 UP、専門性をアピールしていき先導役になる。
214	基礎研修の参加者も一定におられ、認定社会福祉士ができたからこそそのモチベーションなのだと思うと、社会福祉士のレベルアップの役目を果たしている。色々な人がいるからこそルートが多いことは良いと思うが、分野を分けることで必要なことだが更新は一層難しくする。
135	成人後見実務が実務経験として認められることについては、独立型名簿登録をしないまま、できる形を生んでしまっており、もう少し慎重な議論が必要ではないか。実態の差が大きすぎる。

#### (5) 認定資格制度の整理検討 (記述の例示)

151	認証された研修は少しずつ増えているが、地方ほど少なくて受講が困難。また受講証を発行する研修がまだまだ少ないので大変。日本社会福祉士会の生涯研修制度とリンクした制度であって欲しい。特に「各分野制度等の動向」はこれを活用できないか？それから本業を抱えながら委員会活動(専門職として委任や(認定)研修の企画や運営)、行政や他機関での講師や会議等への参画といったものを積み重ねて全て定められた研修単位として扱うようにして欲しい。前述の実践を出来て委員会入る人は P.3 下の 2 条を満たす事が多い。会や資格を背負って活動しているのに、実践していても逆に認定は遠くなる。あと学会や論文発表は上級のみで良いのではないかな。大学などに行かないとなかなか厳しい。全般として要件をまだまだ緩和しないと苦しい。目指す人は少ないと思う。認定を更新すると上級が近付くのは良いアイデア。現在、社会福祉士は何ができるか問われ、ネットワークや地域創りという地域レベルの実践が求められているが、制度は実践とは逆で学術が強いと感じられる。
190	※医療分野だけ特別扱いと思っている人もいる。医療分野のみ MSW 協会の関係で「認定医療社会福祉士」ルートがあるのは、他分野から不公平と思われるも致し方ない。そもそも 2 つの認定資格があることが、今後、混乱とならないようにしてもらいたい。
96	ここまでの形をととのえられたことに敬意を表します。分野別認定を再考してほしい。分野別認定、分野の行き来ができない、分野追加しか解消手段がない、分野追加要件は地方で勤務している者にとって実質クリア不可能…ということで、ジェネラリスソーシャルワーク実践中の地域 SW はとりあえず頑張っただけ認定をとったけれど、この先が見えない。
205	それなりの経験年数、またスキルを身につけていること、適切な表現で知識を説明できるという要件は必要だと思うので、変に門戸を開放(要件緩和)はしなくても良いと思う。
332	現在の福祉業界は高度専門化が進んでおり、3 年かけて基礎研修を続けるモチベーションより、現に目前の実践で必要となる知識やスキルを求めるモチベーションがまさるようです。求められるものにそぐわないルートのように思います。
335	2025 年に 7000 名、2035 年に 20000 名といった目標を目指すのであれば、専門研修(共通、分野別)の対象範囲を広げる。法人格のない、職能団体(都道府県の MSW 協会など)の研修も認める。認証のための費用も無料にする。

(6) 認定者質向上 (記述の例示)

183	高度な流れのわりに地域での評価が低い。本人の努力次第という、この有り方は社会福祉士発足当時とあまり変わっていないと思う。
319	もう少し理論だけでなく、スーパービジョン実践 (スクーリング、集合研修) にしてほしい。ピアスーパービジョンする際は事例提出者をファシリがみるのではなく、周りのバイザー (参加者) が何をどう話しているのかも見てほしい。
348	認定社福士に指導、SV の役割を付加するなり、その資質が育成されているか吟味評価の必要。

(7) 現状良し (記述の例示)

303	私は特別研修を経て取得したが、基礎研修から始まりしっかり学べるようになっていると感じる。
-----	----------------------------------------------

## ② 認定社会福祉士の更新の資格要件、ルート等について

記述内容の分類		件数	構成比%
1	資格取得複雑	18	11.7%
2	資格取得更新情報不足	23	14.9%
3	資格取得研修・更新コスト過大	77	50.0%
4	認定者質向上	7	4.5%
5	スーパービジョン研修確保	33	21.4%
6	認定者社会的評価必要	4	2.6%
7	認定資格制度の整理検討	9	5.8%
8	現状よし	2	1.3%
回答者数		154	100%

### (1) 資格取得複雑 (記述の例示)

8	更新手続きがもっとシンプルだったら更新していた。更新案内をもらってもさっぱり理解不能でした。
219	更新のための研修の案内をどこで見ているのかわかっていません。お手数をお掛けいたしますが案内をしていただけるとありがたいです。
96	「認定」をとることに集中しないと、更新要件を見逃してしまうほど難しい。他分野のどの認定制度(業務独占含め)より、仕組みがややこしい。レポートやEランニングなど、地方在住者に愛の手を。ビデオ面接もぜひ。ビデオSVも。

### (2) 資格取得更新情報不足 (記述の例示)

2	更新のイメージがもっとつくように研修を一覧にして、年度初めに見せるなど。何をすれば更新できるのかまったくイメージがつかない。
228	認定社士取得もそうだが、ハードルが非常に高いと感じる。制度が頻繁に変わり、どうすれば更新できるのか、なかなか理解できない。
249	どの研修を受ければよいかわかりにくい。ポイントの対象となる研修自体が少ないので増えると良い。他の会でやっている研修も認めてはどうか。

### (3) 資格取得研修・更新コスト過大 (記述の例示)

16	更新要件を実現可能なものにしてほしい。(例えば実習指導については社会福祉士養成のためのものでなくても認めるなど←オファーがなく受けたくても受けられない)
96	「認定」をとることに集中しないと、更新要件を見逃してしまうほど難しい。他分野のどの認定制度(業務独占含め)より、仕組みがややこしい。レポートやEランニングなど、地方在住者に愛の手を。ビデオ面接もぜひ。ビデオSVも。
99	地方では実習指導や講師など更新要件を満たすような実績につながるものがない。もう少し考慮してもらえる内容にしてほしい。
214	H28年認定社会福祉士(高齢)、H29年認定医療社会福祉士を取得。分野追加を考えたが、新たな研修の積み重ねが必要であることから断念。分野追加についてももう少し検討してほしい。更新のための研修(単位の取得)が難しい。
247	更新要件④に「定められた実績」について、教育・研究・社会活動のいずれかで1内容程度にしていきたい。スーパービジョンの準備をはじめ、他の要件との兼ね合いを考えると、この要件が最もハードルが高く感じるため。

(4) 認定者質向上 (記述の例示)

140	倫理ばかりを論じるのではなく、なぜもっと実践に活かせるスーパービジョンや各職能団体・職場で指導的役割などを与えられるような実務的な能力をより高める研修内容とならないのか。
190	質を担保するためには厳しい要件とするべき。そうでなければ認定の意味がない。差別化はどうしても出てくるため、更新要件の改定の際、検討いただきたい。
191	分野別の具体的な課題や基準があっても良い。

(5) スーパービジョン研修確保 (記述の例示)

36	SV に関しては、バイザーができる適切な人材が地方には少なく、また顔見知りで気遣いを要することにもなり、集合研修の回数を増やし、それを単位として認めていただきたい。
107	ホームページを見ても更新の資格要件がよくわからず、何の研修を受ければいいのか、スーパービジョンの機会も地方でしか選択できず、非常に悩むところ。
295	①更新期間が短い。基礎研修3年＋スーパーバイズ3年で6年間で要請されても5年で更新は短いと思う。②スーパーバイズを受けるにも適切なバイザーがいなくて(まさか周りに頼めないし)何とかしてほしい。このままだと更新がホントにできません。
59	SW が個人ごとでは受けにくい。集団方式だったら受けられると思うので機会を増やしてほしい。
60	今回、SV 実績が評価されるようになったのはありがたい。ただし研修が少なすぎる。特にSVに関するもの。
121	スーパービジョンの要件が多くて、職場以外の場へ受けに行ったり研修を受けに行くのは小さい子供がいる私にはちょっと負担…。(スーパービジョンの大切さもよくわかるのですが…)
149	更新が5年ごとということですが、改定された(内容)点は助かります。クリアするのに必死なのが実状です。SV を行うという研修をもっと具体的に学ばせて頂けないでしょうか！より専門的な(SV)スーパーバイザーの養成を目指して。

(6) 認定者社会的評価必要 (記述の例示)

280	認定制度自体がもっとわかりやすくなると良い。また社会的認知が進むことを期待すると共に、期待されることを実践できる講義や研修内容、参加しやすい開催地の検討をお願いしたい。
50	分かりやすくしてほしい。実践を客観的に評価する方法を工夫し、実力者(倫理も含め)を一層登用するようにしてほしい。

(7) 認定資格制度の整理検討 (記述の例示)

42	分野ごとに認定されているか必要があるのかということにも関連しているが…。分野ごとの申請を辞める。認定を取得してから規定の専門研修を受けることで、その専門分野が専攻だと公にできるようにするとか…。資格要件の証明をどのようにするのかまでの説明が欲しい(例えば実習指導とか)。
----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

151	<p>認証された研修は少しずつ増えているが、地方ほど少なくて受講が困難。また受講証を発行する研修がまだまだ少ないので大変。日本社会福祉士会の生涯研修制度とリンクした制度であって欲しい。特に「各分野制度等の動向」はこれを活用できないか？それから本業を抱えながら委員会活動（専門職として委任や（認定）研修の企画や運営）、行政や他機関での講師や会議等への参画といったものを積み重ねて全て定められた研修単位として扱うようにして欲しい。前述の実践を出来てる人はP.3下の2条を満たす事が多い。会や資格を背負って活動しているのに、実践していても逆に認定は遠くなる。あと学会や論文発表は上級のみで良いのではないか。大学などに行かないとなかなか厳しい。全般として要件をまだまだ緩和しないと苦しい。目指す人は少ないと思う。認定を更新すると上級が近付くのは良いアイデア。現在、社会福祉士は何ができるか問われ、ネットワークや地域創りという地域レベルの実践が求められているが、制度は実践とは逆に学術が強いと感じられる。</p>
171	<p>スーパービジョンについてはスーパーバイザーを探すのが難しい。スーパービジョン自体が我が国においては未定着であり未確立な現状を考慮し現状を踏まえた現実的なルートを作って欲しい。地域包括支援センターに勤務し、地域支援を含む実践をしており、そうした実践の言語化に取り組んだが、高齢分野に限定された。地域福祉分野にも股がる実践には両分野の申請が出来るように配慮願いたい。</p>
203	<p>認定機構以外のスーパーバイズも何らかの形で認定してほしい。自分の分野である児童分野では、対象者の万解が得にくく、所属外のスーパーバイズが成立しにくい状況がある。</p>
239	<p>現在勤務先所在地のCSW会所属、委員会活動をしている。異動が多く継続的な活動が難しい。PSWのように複数のCSW会に所属し活動できるようにしてほしい。</p>

### ③ 認定上級社会福祉士の更新の資格要件、ルート等について

記述内容の分類		件数	構成比%
1	上級挑戦しない	17	17.2%
2	資格更新要件	28	28.3%
3	更新研修体制	23	23.2%
4	上級の意義不明	25	25.3%
5	認定資格制度の整理検討	6	6.1%
6	わからない	9	9.1%
7	なし	10	10.1%
8	現状よし	1	1.0%
回答者数		99	100%

#### (1) 上級挑戦しない（記述の例示）

8	本当は上級社会福祉士にチャレンジしたかったが、手続きがさっぱり理解不能だった。シンプルにしてほしい。
85	そこまでは到底無理。できるのはよほど恵まれている職場に勤務しているが、大学の先生くらいしかないとと思う。
124	認定社会福祉士も少ないのに更に上に創る意味はない。そのための費用があるなら他に活用すべき。
132	上級は正直いらないと思う。（認定上級社会福祉士よりも使える一般社会福祉士で十分だと思ふ。）
185	詳しくわからないが“認定”を取っても何も変わらない現状で、上級を目指す意義を感じない。
246	仕事を続けながら資格要件を満たしていくことは難しそうです。

#### (2) 資格更新要件（記述の例示）

2	認定制度ができる前から積み重ねてきた研鑽を評価してほしい。
99	地方では実習指導や講師など更新要件を満たすような実績につながるものがない。もう少し考慮してもらえる内容にしてほしい。
158	SV要件の撤廃。
161	認定では本当に質が高い者が認定されていないという現実があります。ペーパーのみでの判定のみでなく、しっかりとした審査を期待します。
205	「上級」になる為の資格要件が現在の認定社会福祉士の更新要件でも良いレベルなのではないかと思う。
213	研修受講を要件にする必要はない。更新のための再研修で十分な資格だと思う。
215	医療分野で職位が上がると、要件から外れてしまう。アイデンティティは社福士としてあるので認めて欲しい。
256	どのような人たちが今現在時点で取得可能対象かが見えてこない。更新要件をこなすだけでも時間、体力、場づくり等、環境が求められており、私には遠いものに思える。
334	他機関等からの要請や委託など、個人の努力では何ともならない項目があり、ある種、環境要因に左右される感がある。

#### (3) 更新研修体制（記述の例示）

60	今回、スーパービジョン（SV）実績が評価されるようになったのはありがたい。ただし研修が少なすぎる。特にSVに関するもの。
145	地方の社会福祉士も取得更新しやすいようにしてほしい。中央（東京）での研修が多いと思います。



197	認定上級に必要な研修が揃っているのか？地方にいる者にとって研修受講は困難で地域格差を感じる。ICTなどの導入も必要ではないか。
323	専門職の前進のためにはスーパービジョンが不可欠であるため、SVの要件は良いと思うが、バイザーの質を高めるための定期的な研修などが必要だと思う。

#### (4) 上級の意義不明 (記述の例示)

163	現場での実践者にとっては全く無理な設定。特に地方に住んでいる者は無理。結局大学等の教員優先、手前ミソ。「認定を3回更新した者に10単位」→現場の実践者にとってはありがたいがバカにしてるのか？お情けか？とも思う。
180	上級になるとどうなるのか、現代ベテランがこの更新にのれず(のらず)経験不足の人が目指すばかりになっていないか、必要なのか、不安になる。
211	学会発表等が必須となっており、これでは学校関係者(教員等)に優位となり、現業者にとっては不利である。なぜ学会発表なのか？疑問に思う。
231	施設長のようなイメージが強くソーシャルワーク実践の上級者の育成が追いついていない。管理的な事ばかりでなく実践家の養成が見えない上級では意味がない。
247	「上級」のイメージは「認定社会福祉士」でも十分に役割を果たせるのではないかと疑問に感じている。

#### (5) 認定資格制度の整理検討 (記述の例示)

24	研修単位認定において、上級の単位認定として値しない場合は、認定更新の認定として、読み替えが可能な場合、認めていただけると助かります。
50	分かりやすくしてほしい。地域、組織でも実践を客観的に評価する方法を工夫し、実力者(倫理を含め)を登用できるようにしてほしい。
71	職能団体主催の研修や症例数に評価を考慮して頂きたい。
283	要件の研究会発表、論文等3つ以上と言うのは要件が高すぎるのではないか。現場も行い論文発表等は何を目指しているのか不明？もともと独立型社会福祉士は上級認定が必要となっていたが、そこまでハードルの高いものである必要があるのでしょうか？

#### ④ スーパービジョン (SV) の方法、内容、受講、頻度、回数、費用、質等について

記述内容の分類		件数	構成比%
1	参加しやすい研修体制	47	35.9%
2	個人 SV 実施体制	22	16.8%
3	スーパーバイザー養成確保必要	45	34.4%
4	認定制度の目標 (SV 普及)	8	6.1%
5	現状良し	7	5.3%
6	その他	7	5.3%
7	なし	7	5.3%
回答者数		131	100%

##### (1) 参加しやすい研修体制 (記述の例示)

100	「スーパーバイズを受ける」要件が厳しい。5年で10回など、現実的にできそうな数値であれば取得が増えると思う。
107	回数が少なく地域も極端に参加しにくい。まずは回数を増やしてほしい。地方でSVを受けられる機会は非常に少ないのでフォローが必要。
129	SVの良い方法をもっと多くのSWに知ってほしいと思う。質について、傷つき体験をするSWが少なくなることを望みたい。
140	どこで受講したらよいのかもわかりづらい。初めてスーパービジョンの研修を受講するには課題が難しすぎると感じる。
193	バイザーに限られ調整方法も明確ではありません。できている県とできていない県の開きは大きいです。ネットでつながる又はそのような専用アプリはないのでしょうか?
228	個人契約の現状ではバイザーの負担も大きい。講義(演習等も含む)による単位取得を中心とすることはできないか。
237	単独で独立型社会福祉士をしていると、スーパービジョンをする機会がありません。独立型の人同士でスーパービジョンをし合う仕組みが必要だと思います。
249	個別スーパービジョンだけを対象としたシステムとなっているが、全ての会員に等しく機会を設けるのは数的に無理で不公平である。グループスーパービジョンを取り入れないと現実的にはシステムが保てない。GSVを認めるべき。
273	費用については一定の目安を設定しても良いかもしれない。

##### (2) 個人スーパービジョン (SV) 実施体制 (記述の例示)

69	個人スーパービジョンの場所については、県士会事務所など金銭的にも距離的にも、公平・中立な場所に配慮した方が、バイザーの負担が少なくなると考えます。
96	認定の単位のSVと本来のSVが、ごちゃごちゃになっています。認められたSVは、個々の契約でOKをされているのに、県では、これについて独自の規格を作りたがり、費用高騰、申込み複雑…で実践しにくくなっています。本部や機構で締め直してほしいです。
105	個人SVが1コース約1年かかり、受けてくれるSVも少なく、現在はかなり厳しい状況だが、SVは必要と考えている。個人SVの回数を減らすことも再考されたし。
111	短期集中ですべき。費用は高すぎる。受けたスーパーバイザーがいらない。
256	スーパービジョンを受ける機会も限られており、集中して1日研修で取得単位が取れるようになれば良いと思う。自分の近くにスーパーバイザーがいないので今後が心配。更新できるかも不明。
343	各県社会福祉士会でスーパーバイザーとして調整(申込み等も含めて)ができれば良いが、県社会福祉士会によっては事務局で主担当者を確保することが難しいなどの課題があるのではと思います。頻度や回数を柔軟にするなど費用等の負担を軽くする事も必要なのではと感じます。

(3) スーパーバイザー養成確保必要（記述の例示）

8	職場以外の人とスーパービジョンを行うには、時間、場所、費用、タイミングの調整がすごく難しい。
10	個人スーパービジョンを受けているが、バイザー側も指導方法に戸惑っている。特に規定書類の書き方が分かりにくい。特別研修で学んだ内容とバイザーの考えに偏りがある。
131	スーパービジョンを受けやすいよう、研修を受けやすいようにしてほしい。スーパーバイザーとされている人たちが、オールマイティではない（現場を知らない）人が多い気がする。
137	経過措置のスーパーバイザーを恒久的なバイザーにするよう制度を変えて欲しい。またリタイヤした者がバイザーになれるよう、自らの現場がなくても経験 30 年以上なら可として欲しい。
143	どこの誰に??名簿を見渡しても身近の方だとキャラクターや専門領域も理解しているので、スーパービジョンをお願いする対象になりにくい事と、選択できるほど近県にもいない。費用の負担は距離が遠くなるほど重くなる。
145	スーパーバイザー登録後のバイザーに対しての研修が必要ではないかと思えます。
149	地方には限られた大学の先生等しかいないので同じ方をお願いするしかない。スーパーバイザーの研修、養成をもっと明確にして欲しい（自分もスーパーバイザーになるのだと言う意味で）。
173	バイジーの費用は少し高いように思う。その割にはバイザーの報酬が少ない。要綱では1時間となっているが、なかなか1時間では終わらず90分～120分かかることもある。
180	都道府県でスーパービジョン体制がまだ不十分である。特に講師と受講希望者、スーパーバイザーよりもスーパーバイジーが経験値が高い。親しい関係すぎてやりにくいなどが起こりやすい。

(4) 認定制度の目標（スーパービジョン普及）（記述の例示）

151	内容について学術が強い。自分が聞きたい振り返りたい事例について、他の支援方法を学ぶ等という実践的な内容に改めて欲しい。理論やモデルに注意が行き過ぎ、実際の業務に余り役立たない。また事前準備が多く負担が大きい。
163	私は経過指定 SV として、きちんとやっているつもりである。毎回気づきからバイジーに対し「課題」も出ていて、バイジーのスキル向上に努めている。しかし他の SV は「一時間、世間話をしている」という声を、その SV からバイズを受けている者から聞いて、これが現実だと思う。
332	スーパービジョンの定義自体が様々すぎるし、スーパーバイザーの質の差も大きいかと想像します。（実際この認定のためには受けていたので。）
342	スーパーバイザーのコーディネーター（認定社会福祉士を SV してくれるバイザーの存在）。
352	スーパーバイザーの資質向上のための研修を定期的に行った方が良い。また認定制度で求める「スーパービジョン」の明確な定義を再検討すべき。バイザーによっては自己の勝手なスーパービジョンを行っている者もいる。

(5) 現状良し

109	今年で 3 回目となるが府内の大先輩に行き、内容・質とも満足している（同性の SV という希望も聞いて頂き、キャリアのモデルとしても参考になる）。振り返りで他バイジーがコンサル的な物を求めている声あり残念。
-----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------

## ⑤ 認定の「手続き（申請・登録・費用）」等について

	記述内容の分類	件数	構成比%
1	費用負担	60	55.0%
2	更新申請事務負担	23	21.1%
3	事務処理遅い	6	5.5%
4	現状良し	12	11.0%
5	特になし	14	12.8%
6	不明	3	2.8%
7	その他	2	1.8%
	回答者数	109	100%

### (1) 費用負担（記述の例示）

140	費用が高すぎる。300万円台の給料しかないのに、認定社会福祉士を取得するまでの研修費、特別研修が毎年決められた場所でしか行われないため、遠方在住の場合は交通費もかかるので、給与から考えたら割が合わない。
214	研修→認定登録まで最終的にお金にある程度余裕がある人でないと目指せない。中堅で頑張っている人は子供がいたり、住宅ローンを抱えていたりで低所得。福祉業界では負担が大きい。
227	認定の拡大を図るなら、若い人へ向け、費用の減額を検討をされても良いか…。
247	申請と登録に別々で費用が必要であり、ここにも申請にハードルを感じる方々が多いと思う。

### (2) 更新申請事務負担（記述の例示）

40	費用が高い。手続きが煩雑。もう少し安価でシンプルに申請できると良い。
151	手続き（申請書類）が多くて煩雑、費用もとても高い。それに対する見返りがあれば話は別だが。検収の認証も3年に1回更新が必要で、費用もとても高い。その結果受講費が上がる。年度内の日程のみ変更なら変更届は不要に出来ないか。

### (3) 事務処理遅い（記述の例示）

11	広報が不足していてとても分かりにくいです。(特に申請時期) 事務局は機能しているのでしょうか。申請から決定までの期間がどうしてあれだけかかるのか不透明です。
69	合格してから登録申請するまでに約1年の期間があったので、研修受講の機会も作れず、もったいない一年でした。

### (4) その他（記述の例示）

200	合格というか審査が条件付きであった。何がどうよろしくないかの審査基準、審査委員の選考基準も含めて、透明性を担保して欲しい。参考文献、文例の提示希望。
343	費用負担は軽い方が良いと考えるが、5年毎の認定更新が可能かどうか不安がある。

## ⑥ 「更新スーパービジョン」の内容、開催頻度、質、量等について

記述内容の分類		件数	構成比%
1	更新S V集合研修の開催増	56	47.1%
2	研修内容改善	11	9.2%
3	研修開催情報提供	6	5.0%
4	研修実施体制	12	10.1%
5	現状良し	16	13.4%
6	不明	9	7.6%
7	なし	9	7.6%
8	その他	3	2.5%
回答者数		119	100%

### (1) 更新S V集合研修の開催増 (記述の例示)

107	回数が少なく地域も極端で参加しにくい。まずは回数を増やしてほしい。地方でSVを受けられる機会は非常に少ないのでフォローが必要。
239	時期をずらし各地開催で事前参加を認めて欲しい。PSWは5年更新だが前年の参加を認めている。更新年に参加できるとは限らない。
280	スーパービジョンを担うことになれば、自身の研修が必要になる。バイザー研修を体系化していただきたい。その受講が更新または上級の資格要件になると良いと考える。実践力がつく研修をできるだけ身近に、かつ高度な内容のものを年に2回位は受けたい。

### (2) 研修内容改善 (記述の例示)

30	スーパーバイザーの育成、実践と研究の距離を感じました。
96	社会福祉士会のスーパービジョンの内容はあまりソーシャルワークの質の向上につながらないと感じます。回を重ねることで、講師さんたちも慣れていかれるのかと(現場での受講生の問いへの回答がバラバラ、不完全燃焼の声多く)。期待します。
151	④と同様で本人が実践する上で振り返りたい事にし、内容をもっと簡素化すべき。負担がかなり大きい～受講前の準備、実践的でないので受講しても殆ど役に立たない。学術過ぎる。学問の為の学問ではなく、現場の実践の学問であって欲しい。

### (3) 研修開催情報提供 (記述の例示)

301	更新のためのスーパービジョンの開催時期がよくわからないので、対策準備のタイミングが良く分からないため、その点を明確にして広報をしていただきたい。
-----	--------------------------------------------------------------------------

### (4) 研修実施体制 (記述の例示)

246	申込時の書類についてボリュームが多く負担に感じています。
-----	------------------------------

### (5) 現状良し (記述の例示)

339	事前準備は大変ですが、自身のソーシャルワークを振り返ることで学ぶこともとてもありました。今の頻度、内容で今後も開催を続けて欲しいと思います。
-----	------------------------------------------------------------------------

**⑦ 認定制度の「普及・定着（認定社会福祉士の活躍・登用の場なども含む）」について**

記述内容の分類		件数	構成比%
1	認定社会福祉士の制度化	52	34.9%
2	認定制度の普及PR	43	28.9%
3	社士会として認定社会福祉士を普及	40	26.8%
4	認定社会福祉士の現場評価高める	28	18.8%
5	認定に挑戦し易い制度に	9	6.0%
6	認定資格制度の整理検討	18	12.1%
7	不明	7	4.7%
8	なし	3	2.0%
9	その他	2	1.3%
回答者数		149	100%

(1) 認定社会福祉士の制度化（記述の例示）

2	ケアマネジャーは資格がないと仕事ができず、国も強い後押しがあり、主任ケアマネ制度は介護報酬にも紐付けされている。分野に分けすぎているのではないか？認定は共通基盤で取得し、専門にあまり特化しないようにしないと、社会福祉士の認知自体が厳しいと感じる。医療分野では、医療法や診療報酬につながらないと普及しないと思う。
109	居宅介護支援事業所に、現特定事業所加算より上位の認定社会福祉士がいる事への加算を！（地域ケア会議や社会資源の開発には必須の人材！！）包括、相談支援事業所への複数の社会福祉士配置、行政福祉職（経験者採用）の普及を！！
309	個人事務所を開所したいと思っています。この場合、認定社会福祉士事務所と表示することは大切かと思えます。でも更新制だと難しいようにも思いますが。
352	診療報酬上の中で「社会福祉士」と規定されている部分を「認定社会福祉士（医療分野）」と変更するよう厚労省へ働きかけるべき！！認定社会福祉士の付加価値を上げる活動が必要である。

(2) 認定制度の普及PR（記述の例示）

197	認知度が低すぎるので、もっとPRすべき。認定を取得しても何もメリットがないので、取ろうという人も少ない。認知度が上がれば活躍の場も広がるかもしれない。スーパーバイザー的な職種には認定取得者を任用する等の働きかけをしてほしい。
286	認定制度の周知と例を出していないと、看護師や方の職種のように広まっていかないように感じます。役職についての方の所持資格としてきくような印象で、そうでなければあまり知られていないので、名刺などをお渡しする際に説明するなど地道に進めています。
307	残念ながら取得していてもしていなくても評価は変わらない。私自身の研鑽という価値しか現状ではない。他者からの評価はない。ネットなどでも“意味が無い”と低評価。目指して取得した努力に対して“すごいね”はあっても、資格そのものに対する敬意はない。

(3) 社士会として認定社会福祉士を普及（記述の例示）

5	社会福祉士がこの制度を知らない。意味ないと思っている限り、他職種が必要とはしないでしょうし、実習指導者や診療報酬の中で明記されるとよいと存じますが難しいでしょうか。
96	後輩に勧めるとき“学習しやすさ”がないと受け入れてもらえません。社会福祉士会は“県”でやるのが多くなり、中央の力が分からない者ばかりが地元のテレビの中でうごめいています。認定制度普及、定着のためには“社会福祉士会”としての強さが求められるのではないのでしょうか。

307	残念ながら取得していてもしていなくても評価は変わらない。私自身の研鑽という価値しか現状ではない。他者からの評価はない。ネットなどでも“意味が無い”と低評価。目指して取得した努力に対して“すごいね”はあっても、資格そのものに対しての敬意はない。
-----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

#### (4) 認定社会福祉士の現場評価高める（記述の例示）

54	認定を取得したから、資質や能力が向上したのではなく、実践と経験の延長に認定があるのが（取得が）当たり前であり、持っている人が地域ケア会議や生活困窮などの機関を超えた包括的継続的支援の助言（スーパーバイズ）ができるという体制が望ましい。認定取得者は今の所ネットワーク上の助言者がジェネラリストに合致すると思う。
144	認定を受けた私たちの問題が大きいです。取得していない社会福祉士との違いを示したり、有用性を伝え、主任ケアマネや認定看護師などのように、その資格が仕事につながる仕組みにしていかなければならないと思う。
343	（県内の）各地域、ブロック単位でスーパービジョン体制が整う事を願っています。地域（地域住民を含む）のソーシャルワーク技術の普及や向上に向けた取り組みや、政策への提言などにより、社会福祉援助職の存在意義が高まれば良いと考えています。

#### (5) 認定に挑戦し易い制度に（記述の例示）

163	私は認定制度が定着して欲しいと心から願っている。その為に①要項、更新条件、表（単位）をもっとわかりやすく具体的に記すこと。②学会発表や論文なんてのは“ヒマ人”“仕事のない”現場実践者しかできない。本当に有能な社士は、このアンケートを書く時間さえも確保できないのに。
230	実践の現場で無理なくきちんと認定が受けられる条件であっても良いと思う。その上で上級はハードルを上げるでも良いと思われる。
256	認定制度の移行期なので、基礎研修ⅠⅡⅢの負担がなかったのも、その後の認定社会福祉士登録研修に時間、体力、費用もつぎ込めたが大変だった。

#### (6) 認定資格制度の整理検討（記述の例示）

214	生涯研修に参加しなかった人達が、基礎研修→認定へ進むのは会員。レベルアップにつながり好ましいが、社会福祉士会員とすることで資格保有者（社会福祉士）でも会に所属していない社会福祉士との差別化がメリットでもデメリットでもある。 認定医療社会福祉士は協会入会が必要ではないため、認定医療社会福祉士、認定社会福祉士（医療分野）の違いが専門職でも分かりにくい。 分かりにくい資格が一般社会で認知されるとは思えず。この1年で今まで認定社会福祉士での活動している人に会ったことはないのも、まず近くの人とつながることから始めてみたい。
309	個人事務所を開所したいと思ってます。この場合、認定社会福祉士事務所と表示することは大切かと思えます。でも更新制だと難しいようにも思いますが。
325	分かりにくい。特に自身は日本医療社会福祉協会の認定医療社会福祉士との区別が全くわからず、申請手続きを進めていく中で理解した。ということはつまり外から見てわかりにくい体系、システムと感ずる。普及しにくい要因。
330	そもそも社会福祉士を養成する段階（養成校）でしっかり伝えていかねばと考えています。今は入学直後の一年生の授業で、資格について学ぶとき、必ず伝え目指せることを願って育成しています。

## ⑧ その他のご意見・ご提案

記述内容の分類		件数	構成比%
1	認定制度の普及 PR	21	18.1%
2	認定社会福祉士の現場評価高める	23	19.8%
3	社士会として認定社会福祉士を普及	17	14.7%
4	認定に挑戦し易い制度に	30	25.9%
5	認定資格制度の整理検討	29	25.0%
6	認定社会福祉士の制度化（配置基準等）	19	16.4%
7	認定者自主活動	7	6.0%
8	その他	5	4.3%
回答者数		116	100.0%

### （１） 認定制度の普及 PR（記述の例示）

認定者の活躍、資格取得のメリット伝達、認定者バッジでPR などの意見

97	認定社会福祉士が必ずしも実践力が高いとは限らないと思います。折角、認定社会福祉士になっても管理の仕事で自ケースを持っていない場合もあります。生涯研修制度との関連性も含めてどのようにキャリア形成していくか、個々の社会福祉士が自分自身で考えて利用していけばよいと思います。
215	向上、発展のためには良いシステムだと思います。しかしそれがどう活かせられ自分達も活かしてよいか不明です。もっと国民に団体としてアピールして下さい。（そもそも社会福祉士の認知度を上げる努力をお願いします。）
84	きちんと更新していけば、技術や意識の向上がはかれると思います。この枠組みを作ったことは、すごいことだと思いますが、やはり取得した方の個人のやる気と意欲に依っているとこがあり、メリットなく、時間と労力とお金をかけても取るものか、同僚や部下に取得を勧められず、自分自身も更新はいいかと思っています。
40	認定Nsのようにバッジやカードなど、身につけられ、一目で分かるようなものを作って欲しいです。つけていると目につき、現場での信頼性が高まる一助となろうかと思えます。

### （２） 認定社会福祉士の現場評価高める（記述の例示）

社会福祉士の質向上、ソーシャルワークの発展とスーパービジョンの普及、社会福祉士評価を高める、多職種連携実施 などの意見

173	<p>認定制度そのものは良い取り組みだと思います。他の専門職資格も「認定」の普及に頑張っているようですが、そういった他資格と対等にその力量を認めてもらって活躍していく場は必要だと思いますし、我々現役会員が頑張らなければならないと思いますが、まだまだ会員の中や非会員でも認定の必要性や会の運営に不満があり、前向きな意見を言う人が少ない気がします。</p> <p>また「認定」という名称が、一般の人には「社会福祉士ではないけど、それと同等のものとして特別に認めてもらった人」という解釈もあり、残念な評価だったりします。もし可能なら、せっかく「上級」という更に上の資格があるので、中級社会福祉士など名称の再検討ができないかと思っています。ケアマネジャーと主任ケアマネジャーのように果たすべき役割や報酬等の違いが明確になれば、目指す人も増えてくるかと思っています。</p>
182	<p>認定制度開始まで長年社会的に社福士が認知されるために研修等（資質向上）を続けてきた結果、認定社福士に登録できたことは間違いではなかったと思う。しかし今後 10 年先、20 年先には社会的認知されることを願っています。自分は年齢がきてしまいましたので、やれることは無くなり残念ですが、独占業務をとれること、専門家として成り立つことをこれからの人達に願わずにはられません。</p>



233	社会福祉士の質が必ずしも高くはなく、誰でも持てるようなものになっている。認定社会福祉士を作っても同じことにならないように、本物のソーシャルワーカーがうまれて地域の中で活躍できると良い。
-----	----------------------------------------------------------------------------------------------

### (3) 社士会として認定社会福祉士を普及（記述の例示）

13	せっかくの認定制度が社会的に認められるためには、認定社会福祉士が活躍することが一番だと思いますが、機構も認定社会福祉士の地位向上の戦略を立てて実践頂きたい。
86	講師料の基準を一般社士と認定社士で本県は差を設けました。認定だから可となる部分を増やすことで、取得を目指す人は増えると思います。
132	そもそも他の専門職と比較しても専門職団体に加入すること、生涯教育、リカレント教育に関する一人一人の意識が低すぎる！！現状を直視しないと社会福祉の専門職の将来は暗いままでしょう。私は社会人1年目に理解のない職場の上司より「原付免許の方が使える」と言われました。今でもその言葉がつきささっています。社会福祉士は義務独占資格ではありませんが、他の資格と比較してあまりにも幼稚なものと考えています。

### (4) 認定に挑戦し易い制度に

制度複雑・情報不足、申請更新事務負担、研修体制の適否(地方開催)、費用負担過大 などの意見

42	資格は取得したが、具体的に更新するための要件の証明の仕方が分からず不安。例えば大学の講義や実習指導時間の証明など。多数の資格保有者がいて不安だと思うので、聞かなくても分かるように情報を提示してほしい。5年分の書類となると、それなりの準備も必要なので早めに教えてほしい。
163	第三者が読んでわかるのか？と思うが、地方では認定を希望する者が既にいらない。もしくはパートナーで成年後見を受任する為だけに基礎研修を受けるなど、仕方なく。このままでは制度倒れに終る。認定の研修も地方の社会福祉士会ができるようにしないと、わざわざ東京や大阪に行く者はいない。
170	更新要件が複雑で理解しづらい。時間とお金をかける割にメリットが少ないと感じます。大学院でじっくり深く学ぶことの方が自分にとって有益と考え入学しました。そのため更新は現実的に断念している状況です。

### (5) 認定資格制度の整理検討

制度目的・制度体系検討、社会福祉士評価の向上、ソーシャルワークの発展とスーパービジョンの普及の役割、養成の質実現、制度の検証（分野別認定、更新制度、日本医療社会福祉協会認定制度との関係 ほか）、認証認定機構あり方 などの意見

20	社会福祉士としての自分の実践が「社会福祉士」の役割、実践だと理解されない現状が辛い。
132	そもそも他の専門職と比較しても専門職団体に加入すること、生涯教育、リカレント教育に関する一人一人の意識が低すぎる！！現状を直視しないと社会福祉の専門職の将来は暗いままでしょう。私は社会人1年目に理解のない職場の上司より「原付免許の方が使える」と言われました。今でもその言葉がつきささっています。社会福祉士は義務独占資格ではありませんが、他の資格と比較してあまりにも幼稚なものと考えています。
62	認定制度云々よりも実際に動ける、頼られるSWになることの方がよほど大切だと思います。頭でっかちのSWは要りません。お金と時間をかけるなら、より価値ある研修などにその分を費やしたいと思います。以上です。
32	ジェネラリスト・ソーシャルワーカーの上級資格であれば認定制度の意味があると思います。制度設計そのものが間違っていると思いますし、社会のニーズとかい離しています。社会福祉士資格そのものも含めて、養成の在り方や現制度の批判的考察をしていただきたいと思います。現状はソーシャルワーカーの人ばかりではないでしょうか？

159	包括的相談支援ではジェネラリスト性が求められる中、スペシャリスト性の追求は一部矛盾する。
200	・合宿方式、民泊方式で被災地等での実地研修を通じスーパービジョンやソーシャルワークの視点の習得ができる機会があればと思います。(応急時の対応の中に実践結果の検証ができるように思います) ・いろいろ記入しました。僭越な内容であることは承知の上で申し訳ありません。(ソーシャルワークという横文字標記どうも好きになれません。) ・特別な有識者によるプログラム作成でなく、未会員の有資格者が、くいつくような入金して良かったと思える費用参加、場所、開催プログラムの検証を研修第一でお願いします。エリアを超えた飲み会、懇親会を随時やりましょう！！
149	業務が独占的なものになっていけば、認定制度も定着・普及していくのかと考える。〇〇〇分野、〇〇〇については認定社会福祉士に限るとなれば、すばらしいかと考えます。
311	現場で働くソーシャルワーカーのための認定資格であれば、現場の声がダイレクトに届く認証認定機構にすべきである。少なくとも理事は過半数以上が現場で働く社会福祉士であるべき。現場を知らない大学教員が理事をしていても、認定資格と現場の実情が乖離しては、何のための誰のための認定なのか分からない。理事はこれほど多くの大学教員が入る意味はない。社会福祉士会、日本医療社会福祉協会から理事の過半数以上は出るべきである、認定機構がもっと現場に近い位置にいないければ、社会福祉士登録者の20%という認定者数の目標値達成は難しいと思う。現場の社会福祉士自身が、認定資格を考え、つくっていくという体勢が必要。

#### (6) 認定社会福祉士の制度化 (配置基準等)

121	私は病院のソーシャルワーカーですが、診療報酬やら介護報酬やら施設職員の条件やらに認定を持っていることが求められれば、皆、申請するのではないのでしょうか。まずは協会会員数を増やして制度定着を目指す必要があるように思います。若者の会員を増やさないと制度どころか協会自体の存続が危ない。
-----	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

#### (7) 認定者自主活動

143	名称独占から業務独占へ。認定社会福祉士や上級人口、業務独占になるようなことにつながっていかないと日本社会福祉士会の営利目的のための認定となってしまうのでは、という話をすることがありました。私たちの社会貢献を行う上でも意識向上につながるような制度をお願いしたいです。この制度は「人材育成」が肝であると考えているから、県士会にその体制が作れず、入会しても数年後に退会や幽霊会員になってしまう40代以下をなんとかしたいと思って、認定社会福祉士としてネットワーク化、勉強会の機会を作ったり展開していきたいのですが…。会の三役以上の者から理解されなくてはただの飾りというか日本社会福祉士会で考えられている制度運営にはならない現状や現実があることを最後にお伝えさせていただきます。
-----	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------